

令和8年6月定例教育委員会会議録

○日 時 令和8年6月25日(木) 午後3時00分～午後3時45分

○場 所 櫛引庁舎 3階 教育委員室

○出席委員

教育長 成澤 和則

1番 百瀬 克浩(教育長職務代理者)

2番 佐藤 涼子

3番 中村 公俊

○欠席委員

4番 小林 真貴子

○出席議事説明職員氏名

教育部長	白幡 有	管理課長	石川 聡
管理課主幹兼教育施設在り方検討室長	疋田 昌広	学校教育課長	秋山 尚志
学校教育課指導主幹	山中 秀人	社会教育課長	遠藤 直樹
参事兼藤沢周平記念館長	沼沢 紀恵	次長兼スポーツ課長	阿部 三成
中央公民館長	板垣 誠	図書館長	五十嵐恭子
給食センター所長	伊藤 智康		

○出席事務局職員氏名

管理課 課長補佐 渡部 久美子

【会議次第】

1 開会

2 市民憲章唱和

3 会議録署名委員の指名

4 議事

日程第1 議第17号 鶴岡市社会教育委員の委嘱について(非公開)

日程第2 議第18号 鶴岡市スポーツ推進審議会委員の委嘱について(非公開)

日程第3 議第19号 鶴岡市中央公民館運営審議会委員の委嘱について(非公開)

日程第4 議第20号 鶴岡市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について(非公開)

日程第5 議第21号 鶴岡市藤島ふれあい食センター運営委員会委員の委嘱について(非公開)

日程第6 議第22号 鶴岡市立学校の校名について

5 報告事項

(1) 鶴岡アートフォーラム特別展覧会

ロートレックとベル・エポックの巴里(パリ)ー1900年について

(2) 「国際バドミントンU16 庄内2026」について

(3) 新図書館整備に向けた検討整理報告書について

(4) 「本といっしょ つるおかトーク 第2回」について

(5) その他 ・藤島地域義務教育学校開校の進捗について

・新学校給食センター整備の進捗について

開 会（午後3時）

教育長 本日は、4番委員が欠席であるが、定足数に達しているので、ただいまから6月の定例教育委員会を開会する。

（学校教育課長が先唱し市民憲章を唱和）

本日の会議録署名委員は、1番委員にお願いします。

それでは議事に入る。本日の日程第1 議第17号から日程第5議第21号は人事案件のため、非公開とすることにご異議はないか。

各委員 異議なし。

教育長 異議なしと認め、議第17号から議第21号は非公開とする。
（会議録は別記録とする）

教育長 続いて、日程第6 議第22号 鶴岡市立学校の校名について、事務局より説明願う。

管理課主幹兼 議第22号について、説明する。

教育施設在り方 本件は後ほど、報告事項で説明を予定している、6月30日（火）に開催する藤
検討室長 島地域義務教育学校開校準備委員会において、新しい学校の校名の選定について検討いただく予定であることから、教育委員会としての方針を定めるものである。背景としては、第1期の学校適正化推進計画を進めるにあたり、教育委員会として、当時の各地域検討委員会、次の段階である統合準備委員会に校名の基本的な方針を示す必要があったことから、平成24年9月に鶴岡市立小学校の校名について、定めている。

このたびは、義務教育学校や中学校も含めた学校全般を対象とする方針を定めるもので、内容としては前回の方針を踏襲するものである。

今回の基本方針の内容について、ご説明する。議案の別紙をご覧ください。

「学校の統合又は開校に際しての校名については、学区・地域を表すにふさわしい名称を基本とし、統合準備委員会又は開校準備委員会からの提示案を踏まえ、教育委員会が選定することとする。ただし、鶴岡地域の「朝暘」を冠する学校の校名については、変更しないこととする。」と定めるものである。

第1段落については、学区内の融和と連帯のもと、教育環境の整備や地域運営にあたられるよう、地域住民の共通理解が得られる名称にするべきであるという考えによるものである。

第2段落のただし書きについては、鶴岡地域の市街地に設置された小学校は、

「朝暘」を冠する校名となっており、この「朝暘」という言葉には、庄内藩校致道館の教育風土を受け継ぐ象徴として、本市にとって特別な意味合いがあることによるものである。なお、校名の決定に関する手続きとしては、教育委員会が開校準備委員会、または統合準備委員会に対し基本方針を示し、準備委員会の提示案を踏まえ、教育委員会において議決し、市議会で鶴岡市立学校設置条例の一部改正が議決されることにより、最終的な決定となる。

教育長 ただいまの議第22号についてご質問ご意見はないか。
それでは、採決を行う。議第22号について、賛成の者の挙手を求める。

各委員 (全員挙手)

教育長 全員挙手により可決された。
予定された議事は以上である。
次に、報告事項に入る。
報告事項(1) 鶴岡アートフォーラム特別展覧会について、事務局より説明願う。

社会教育課長 鶴岡アートフォーラムでは、7月18日(土)から8月23日(日)まで、特別展覧会「ロートレックとベル・エポックの巴里-1900年」を開催する。

ロートレックは、19世紀の大衆文化を象徴する作品を残した人物のひとりであり、身体的なハンディキャップを負いながらも、鋭い観察眼と的確なデッサン力で19世紀パリのキャバレーやダンスホールに集う人々を描き、大胆な構図と斬新な感覚で広告ポスターを芸術の域まで高めた。19世紀末から20世紀初頭のパリでは、映像やダンス、音楽など華やかな娯楽が流行し、芸術においても象徴主義や新たな芸術運動も生まれたため、この時代はベル・エポック(美しき時代、良き時代)と呼ばれている。

本展では、ロートレックを中心に、このベル・エポックに活躍したミュシャやドガなど同時代の画家たちが描いたポスター、広告、版画、油絵、水彩、デッサン、彫刻など約300点を展覧し、華やかな時代を映し出したパリの芸術を紹介する。会期中のイベントとして、ギャラリートークや美術講座など、より作品への理解を深められる企画も実施する。

この機会にぜひ鶴岡アートフォーラムへ足を運んでいただくよう案内するとともに、周知への協力もお願いしたい。

教育長 ただいまの報告にご質問ご意見はないか。
それでは、続いて報告事項(2)「国際バドミントンU16庄内2026」について、事務局より説明を願う。

スポーツ課長 この大会については、これまで6月下旬開催してきたが、例年より1ヶ月遅い7月25日(土)、26日(日)につるしんアリーナ小真木原において、今回で5回目の開催となる。

本大会は、世界でも数少ない、15歳以下の各国代表選手が集う国際親善大会である。チラシ最下段に記載のバドミントン強豪国である12か国、そして日本のトップジュニア選手・コーチの皆さんが庄内を訪れる。

男女それぞれ16名の選手が出場するが、山形県内および鶴岡市内の中生徒の皆さんとともに、同世代の世界の子どもたちと真剣に切磋琢磨し、交流する貴重な機会となる。

また、大会では、地元のバドミントン競技に携わる小中学生による国別の応援や、これまで世界大会等で活躍した桃田賢斗氏によるバドミントンクリニック、また、大会終了時に行われる各国選手とのふれあい交流など、将来オリンピックに出場する可能性がある若手競技者と国際交流することも、大会の開催意義の一つとして捉えているところである。

教育委員の皆様におかれてはご多忙のことと存じるが、ぜひご観戦いただき、海外や地元鶴岡の選手に対し熱い声援を送っていただくようお願いしたい。

教育長

ただいまの報告にご質問ご意見はないか。

それでは、報告事項(3)新図書館整備に向けた検討整理報告書 及び (4)「本といっしょ つるおかトーク」について、事務局より一括で説明願う。

図書館長

新図書館整備については昨年12月に報告しているが、実施時期を含めた再整理を行うこととなり、令和7年度に予定していた基本計画策定に向けた検討は、一時中断せざるを得ない状況となった。このような状況下において、これまでの検討内容を整理し、現段階での課題を明確にする必要があると考え、本報告書を作成した。将来の基本計画策定にあたり、必要な検討項目を整理・記録しておくことで、今後のスムーズな事業実施につなげることを目指している。また、図書館の運営においては建物だけでなく、学びや交流を育むための「仕掛け」も重要となるため、現図書館で先行して実施する仕掛けづくりについても併せて整理している。

本報告書の構成は大きく以下の4項目からなる。第1章「この報告書の位置づけについて」、第2章「令和6年度に策定した基本構想について」、第3章「基本計画策定に向けた検討課題の整理状況について」、第4章「新図書館整備に向けた今後の取り組み」である。

第2章の基本構想振り返りにおいて、基本計画策定見送りに伴い検討されなかった課題を「未着手」とし、検討が進んだ項目のみを報告書に整理している。未着手となった課題の詳細は本報告書には記載していない。

報告書の第3章(6ページ以降)は、基本計画策定に向けた検討課題(未着手項目を除く)の一覧表と、各項目における今後の整理状況をまとめている。表の構成は、検討項目・対応状況・今後の概要・該当ページで構成し、記号を用いて継続検討(白丸)と先行検討(黒菱形)の定義を明確化している。

資料13ページは、新図書館整備に向けた今後の取り組みとして、早期に着手・実施を予定している事項をまとめている。

今後の取り組みとして、まず「(1)人材育成」を掲げている。多様化する市民ニーズ等へ対応するため、人材育成に取り組み、対応できる職員を育成したい。

「(2)ソフト事業の充実」については①から③まで記載しており、これも今年度から開始したいと考えている。「(3)ICTの活用」についても、ICタグの活用などデジタル面で導入可能な施策が多くあるため、検討を進めていく。

関連事業として、資料13ページの「(2)連携イベント」に記載がある「本といっしょ つるおかトーク」について説明する。本年3月に土曜会の柿崎氏を招いて第1回を開催したのに続き、第2回は鶴岡スペースステーションの佐藤涼子氏を講師に迎え、中高生を対象に開催する。内容は、数学や物理が得意な層に限らず、宇宙とのつながりや活躍の場が多様にあることを伝えとともに、図書館の本を手にするきっかけとなるようなワークショップを含めている。

教育長 ただいまの報告にご質問、ご意見はないか。

1番委員 新図書館の整備については、財政的な要因も含めて仕切り直しとなった。しかし、これまで検討を重ねた内容が整理され、今後の図書館運営やソフト面において活かされる方針となったことは大変意義深い。これまでの検討に関わった関係者の尽力に対し、深く敬意を表する。今後は、検討成果を今後の図書館運営に活用していくことを関係者に周知するとともに、将来の本格的な整備時期に向けて、これまでの蓄積を引き継いでいくことが重要である。

2番委員 報告書としてまとめることになった経緯について、説明願う。

図書館長 予算を投じて検討を進めてきたが、年度途中で打ち切りとなった。しかし、これまでの検討結果は公表すべきであるという庁内の意向もあり、最終的に報告書という形で公表することとした。

教育長 他にご質問ご意見はないか。
(5)その他は、2件報告がある。初めに、藤島地域義務教育学校開校の進捗について、事務局より説明願う。

管理課主幹兼
教育施設在り方
検討室長 このたび、藤島地域義務教育学校開校準備委員会の第1回会議を6月30日(火)午後6時30分から藤島庁舎3階大会議室において開催を予定している。本会議においては、報告事項として準備委員会設置の趣旨、これまでの経過、整備基本構想の概要について説明し、説明・協議事項として検討部会の設置及び検討事項、今後のスケジュール、校名選定の検討方針について検討いただく予定である。

検討部会の設置及び検討事項については、総務部会、学校部会、PTA関係部会において各項目をご検討いただく。

今後のスケジュールについては、令和10年度まで、開校準備委員会を年3回、各検討部会を適宜開催する予定である。

校名選定に向けた検討方針については、「鶴岡市立〇〇学園」の〇〇部分を公募することを事務局案として示し検討いただく。

校名募集のスケジュールについては、8月に公募を周知し、9月から10月にかけて公募を実施、総務部会、開校準備委員会での検討のうえ、校名案を提示いただき、来年2月の定例教育委員会にお諮りする想定である。

今後も進捗状況にあわせ適宜ご報告する。

教育長

ただいまの報告に、ご質問ご意見はないか。

いよいよ開校準備委員会が動き出す。まずは校名から着手していく。

続いて、新学校給食センター整備の進捗について、事務局より説明願う。

学校給食センター所長

「今後の学校給食のあり方及び新学校給食センター整備基本計画案に対する意見公募の結果案」を市ホームページに公表していく。パブリックコメントは、5月15日から6月15日までの31日間実施され、42名から90件の意見が寄せられた。応募方法は、そのほとんどがホームページ経由であった。応募意見は現在整理中であるが、最も多かった意見は委託への反対である。意見の内容としては、安全・安心な給食食材の提供や食文化の継承、地産地消に関連して生産者への感謝を育む食育の重要性を指摘する声があった。また、調理業務の民間委託への懸念、安全なアレルギー対応に向けた専門職の確保、施設・労働環境面における調理員の就労環境の整備を求める意見などが寄せられている。パブリックコメントへの回答および今後の予定については、意見を踏まえて必要に応じ基本計画の修正を行い、早ければ7月の定例教育委員会において基本計画の議決を得たいと考えている。

教育長

ただいまの報告にご質問ご意見はないか。

委員から何かあるか。

これをもって6月の定例教育委員会を終了する。

閉 会 （午後3時45分）